

令和6年第1回九重町議会定例会

令和6（2024）年度

九重町施政方針



令和6年3月

九 重 町

1 はじめに

本日ここに、令和6年度の当初予算案をはじめとして、諸議案のご審議をお願いするにあたり、私の町政運営に臨む方針の一端を申し延べ、町民の皆さまと議員の皆さまに、ご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに、「令和6年能登半島地震」によって亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈りいたしますとともに、被災された皆様方に心からのお見舞いを申し上げます。本町といたしましても最大限被災地への支援を行いたいと考えております。

令和5年度を振り返りますと、「第5次総合計画」を基本としながら、新型コロナウイルス感染症対策、甚大な被害を受けた令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興、物価高騰等の経済対策を最優先として施策を進めてまいりました。この間、町民の皆さまも「我慢する」「耐える」ということが多かったことと思います。

しかし、新型コロナウイルス感染症対応においては、感染症法上「5類」となって以降、徐々にではありますが、もとの生活に戻ってきており、また、令和2年7月豪雨災害からの復旧・復興についても見通しが立ちつつある中、令和6年度は、九重町第5次総合計画で掲げるまちの将来像『未来へつなごう！豊かなこころと癒やしの自然 ～みんなでつなぐ 未来へのバトン～』を実現させるため、「守り」から「攻め」へ大きく舵を切っていく飛躍の年であると位置づけています。

令和6年度中に、本町で予定されている主な動きといたしまして、「町制施行70年」、「阿蘇くじゅう国立公園制定90年」、「やまなみハイウェイ開通60年」、「ふるさと祭り30年」など多くの節目を迎えるものがあります。

4月からは「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」も始まり、D&S（デザイン&ストーリー）列車として、現在の久大本線の敷設にも尽力された、八鹿酒造の麻生観八翁のお名前に由来する「特急かんぱち・いちろく」の運行が予定されています。

ツール・ド・九州2024の開催、旧野上中学校跡地の有効活用、東飯田地区の釣住宅用地造成、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへの相談支援を行う「こども家庭センター」設置なども計画されております。

少子高齢化、担い手不足や社会保障関係費の増加、社会資本・公共施設の老朽化といった構造的な課題への対応を図りながらも、持続可能な町づくりのために、終始一貫して健全な財政運営を堅持することができており、九重町の未来のために真に必要な施策を予算化しております。

その結果、一般会計予算の総額は前年度と比較し、約2.9パーセント増（+2億4,500万円）の88億2,000万円の規模となっております。

それでは、令和6年度当初予算に掲げております、特に重点的に取り組む施策について、第5次総合計画の6つの基本目標に沿ってご説明させていただきます。

2 令和6（2024）年度における実施事業の概要

（1）こころを繋ぎ、みんなでつくるまちづくり

（協働・人権・行財政運営）

協働のまちづくりの推進

- ・情報共有の推進（公式LINEアカウント改修）

人権尊重社会の実現

- ・住民人権意識調査の実施

持続可能な行財政経営の推進

- ・健全な行財政運営の推進（こども園の民営化検討）
- ・電子自治体の推進（DXの推進、行政分野のインフラ整備、こども園ICTのシステム整備など）
- ・デジタル田園都市構想総合戦略の策定（まち・ひと・しごと創生総合戦略）
- ・大学連携事業の推進

（2）地域の資源を活かし、いきいき働けるまちづくり

（産業振興）

農林畜産業の振興

- ・担い手の確保・育成（乾しいたけ新規参入者支援）
- ・地域ブランド化の推進（後継牛能力向上対策）
- ・林業の振興（未整備森林等調査）

観光の振興

- ・観光拠点等の環境整備（小松地獄遊歩道復旧）
- ・広域観光の推進、観光情報の発信（福岡・大分デスティネーションキャンペーン関連、D&S列車おもてなし関連、国際交流（台湾・モンゴル））
- ・地域資源を活用した観光振興（観光動態調査、九重版地域づくり法人（DMO）設立の推進）

（3）自然とともに、心地よく暮らせるまちづくり

（自然・生活環境）

住環境の整備

- ・安全な飲用水の確保（町内漏水調査）
- ・移住・定住の促進（釣住宅分譲に向けた宅地造成）

道路・交通網の整備

- ・道路整備と維持管理（町道の維持整備）
- ・交通・移動手段の確保（新たな運行体系の導入）

デジタル社会への対応

- ・情報化の推進（窓口キャッシュレス決済導入）

（４）安全・安心な暮らしを守るまちづくり

（防災・防犯）

防災・減災の推進

- ・防災体制の充実（災害に備えた備蓄倉庫の設置、小中学校防災用品整備、ハザードマップの配布など）

（５）助け合い、みんなで支えるまちづくり

（健康・福祉）

結婚・出産・子育て支援の充実

- ・結婚・出産・子育ての希望への支援（こども家庭センターの設置）
- ・子育て不安の解消（児童手当の拡充、子ども医療費を高校生世代まで拡充、おたふくかぜワクチンの接種費用助成、産後ケア事業宿泊型を新設）

障がい者福祉の充実

- ・障がい福祉サービスの充実（医療的ケア児在宅レスパイト事業の開始）

（６）地域に学び、ひとを育て、未来が輝くまちづくり

（教育・文化）

幼児教育・学校教育の充実

- ・野上小学校の長寿命化改良工事のための設計
- ・親子山村留学モデル事業の実施

文化・スポーツの推進

- ・生涯スポーツの推進（ツール・ド・九州2024）
- ・文化・スポーツ施設の充実（旧野上中学校跡地の有効活用（校舎解体・活用計画検討））
- ・休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行

以上が、令和6年度に取り組む主な施策の概要となります。

この他にも継続事業については引き続き実施を行い、各担当課におきまして、第5次総合計画に沿って所要の事業を実施・施策を推進してまいります。

ます。

私は、人と人との顔を合わせ集うこと、笑顔で交流できることが、田舎である九重町にとっての魅力であり、町民の皆さんとの対話(対話の行政)が大切であると常々思っています。

また、先人たちが作り上げてきた、愛する九重町を、これからも発展させ、未来へ繋いでいくことが使命であると感じています。

最後になりますが、これら諸施策に対して、町民の皆さま、議員の皆さまからのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、令和6年度の施政方針とさせていただきます。